

平成 26 年 12 月 1 日

『株式会社ドーガン 設立 10 周年記念事業』

カンボジアへの図書館寄贈のお知らせ

株式会社ドーガン（本社：福岡市 代表取締役 森 大介）は、設立 10 周年の記念事業として今夏、米国を本拠とする国際的な NGO 組織であるルーム・トゥ・リードの協力により、カンボジアの農村地区の小学校に図書館を寄贈しました。

ルーム・トゥ・リード は、マイクロソフトの幹部社員だったジョン・ウッドにより 2000 年に創設された、開発途上国の子どもの人生を読み書きの習得と男女平等の教育機会から変えていくことを目指しており、“子どもの教育が世界を変える”という信念のもと、すべての子どもが初等教育の間に読み書きと読書習慣を身につけること、女子学生が中等教育を修了することをサポートしています。バングラデシュ、カンボジア、インド、ラオス、ネパール、南アフリカ、スリランカ、ベトナム、ザンビア、タンザニア等において、2000 年から現在までに 1800 以上の学校建設、16000 以上の図書館（室）建設、880 万人以上の子どもに質の高い教育の機会を提供しています。

ドーガンは、このような教育活動を微力ながら継続支援することが、草の根的に新興国における九州の知名度向上と緊密化につながり、延いてはグローバル化する経営環境における九州経済の活性化への一助となることを期待しています。

〔ご参考〕

ルーム・トゥ・リード ジャパン <http://japan.roomtoread.org/>
Room to Read official web site (英語) <http://www.roomtoread.org/>



■ この件に関するお問い合わせ

(株)ドーガン <http://www.dogan.jp/>

〒810-0041 福岡市中央区大名 2 丁目 4 番 22 号

TEL : 092-739-2311 (担当：業務統括本部) メール : info@dogan.jp



カンボジア 図書館 アプリケーションレポート

株式会社 ドーガン 御中

カンボジアにおける図書館の建設へのご協力、ありがとうございます！



プロジェクト概要

小学校は、人口は 700,000 人のカンボジアで 2 番目に大きな州、コンポン＝トムに位置しています。トンレサップ湖に面したコンポン＝トムの人々は、主として稲や野菜といった農業、畜産、漁業で生計を立てています。しかしこれらの産業は収入が特定の季節に限られるため、住人の多くは不安定な収入で極度の貧困にあえいでいます。不安定な経済に加え、コンポントムは 10 年続いた内戦で最も甚大な被害を受けた州のひとつでした。1975 年に正式に終戦したにもかかわらず、紛争は州全域に渡って 1990 年代半ばまで続いていました。これにより、住人は社会的そして政府による支援を受けることができずにいたのです。

社会的にも地理的にも孤立し、コンポントムは十分な教育資源に事欠いている状況です。州の識字率は 58%、これはカンボジアの全国平均と比較して 10% も低い数字です。特に女性については、教育の機会に実質的な障壁があり、その結果、識字率、中等教育修了率いずれにおいても男性に比べ著しく低くなっています。この低い識字率や、教育における男女間の明らかな不均衡が存在するコンポントムにおいて、ルーム・トゥー・リードの活動は必要とされています。

プロジェクト詳細

プロジェクト ID: KH-CRR-14-0013

名称: [REDACTED] 小学校

州: Kampong Thom (コンポントム)

地区: Santouk

市/村: Tbeng

学年: 1 ~ 6 年生

生徒数

女子: 108 名

男子: 114 名

合計: 222 名

教員数

女性: 1 名

男性: 2 名

合計: 3 名

小学校はカンボジアの首都・プノンペンからおおよそ 147km の所に位置しています。

支援の理由

この学校では教育資源が著しく不足しており、また生徒たちは授業外で本などの読み物を利用することができません。また、学校には図書館を設立する十分な敷地や家具もなく、地域は自力で図書館を建設する資源がありません。新しく生徒たち専用の図書館を建設することで、生徒たちに待望の教材を届けられるだけでなく、彼らの芽生え始めた読み書きの能力に必要な練習をサポートし、また読書習慣をつけさせることができるのです。

学校の校長、教員、そして地域の人々は新図書館の建設に胸を躍らせ、プロジェクトの予算の 15% 以上の現金や現物寄付のほか、プロジェクトの監督に建設委員会の発足も計画しています。図書館が建設された暁には、ルーム・トゥー・リードが本や図書館に必要な用具を寄付し、3 年間の図書館マネジメント研修と支援を提供します。

追記) 現存のインフラ・教室の状況について

- ・フェンス有り、水は利用可、トイレ環境は十分
- ・換気・照明環境は不十分、壁にヒビが入っており、屋根は雨漏りがある。空調も不十分

計画案

地元と協力し、ルーム・トゥー・リードはワンルームの図書館建設を計画しています。リサーチによれば、換気、照明、騒音対策を向上させることで生徒たちの出席度、到達度（例：生徒たちがどれ程長く学校に在籍できるか）、達成度（例：生徒たちが学校でどれ程成果を出すか）に明確な変化が表れると言います。最適な読書環境を生徒たちに提供できるよう、私たちはこれらのポイントを念頭に置き図書館を設計します。

新図書館は 7 x 9 メートルの大きさになります。建物は鉄筋コンクリートの骨組に、壁はレンガ、床は舗装したコンクリートにタイルを敷き、木製のドアと窓が設置されます。屋根については鉄骨フレームにセメントタイルを葺くことになります。

地域/学校による寄与案:

- ・地域からの寄付を含めた建設費用
- ・教員用の机・椅子
- ・生徒用のテーブル・ベンチ
- ・黒板
- ・プロジェクト進捗の監督・監視を含めたプロジェクトマネジメント
- ・新しい教室のティーチングスタッフ

ルーム・トゥー・リードによる寄与案:

- ・建設資材費および人件費
- ・建設のための研修および技術的援助
- ・プロジェクトの計画および取りまとめ
- ・建設の品質と進捗を監視





